

ブロナンセリン（ロナセンテープ）の適応外使用について

使用内容	他の薬剤およびケアで対応が困難な難治性のせん妄に対する症状緩和目的に使用
対象患者	せん妄と診断された方
実施期間	永続的に使用
目的・概要	<p>他の薬剤およびケアで対応が困難な難治性のせん妄に対する症状緩和目的に使用します。</p> <p>せん妄は、もともとある病気に身体的・環境的な負荷が加わり、一時的に意識障害や認知機能の低下が起こる状態です。その頻度は高く、原因に応じた環境調整や薬物療法を実施します。せん妄の薬物療法を実施する際は、抗精神病薬を基本としますが、電子添文で認められている薬剤はチアプリドのみです。社会保険診療報酬支払基金が公表している審査情報提供事例において、ハロペリドール、リスペリドン、クエチアピン、ペロスピロンの4剤がせん妄に対する処方として記載され、その処方が社会的にも認知されています。上記5剤に貼付剤であるブロナンセリン（ロナセンテープ）も選択肢に加えることで、個々の症状や背景に応じて、適切な薬剤を選択し、薬物治療を実施したいと考えます。</p>
使用場所	病棟・外来
使用条件	<p>添付文書上の投与方法に準じます。</p> <p>他の薬剤が使用できない場合や他の薬剤では効果不十分な場合等に使用を考慮します。</p>
想定される不利益と対策	<p>薬剤の添付文書に記載された用法用量に準じて治療を行うため、一般的に想定される副作用と同等と考えられます。本剤施用に伴う有害事象などの健康被害が生じた場合は、適切な診療と治療を行います。</p>
使用に関する同意について	<p>当院では対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い同意をいただく代わりに、ホームページに情報を公開することにより実施します。本件に同意をいただけない場合やお問い合わせなどありましたら、担当医師にお申し出ください。</p>

栃木県立がんセンター 病院長